

文教厚生常任委員会活動レポート

開催日：令和7年9月9日(火)

開催場所：1・2号委員会室

● 9月定例会提出議案審査

9月定例会提出の議案を審査し、担当部局から個別の案件ごとに説明を受け、質疑、協議、申し入れなどを行いました。

町民生活部

1. 町内バス路線再編に伴う停留所整備について（器具費 1,529千円）

令和7年10月1日（水）からの町内バス路線再編による実証運行に伴い、停留所の新設、移設、不要となる箇所の撤去が行われ、市街地、計根別、武佐、俣落、養老牛では住民説明会を実施している。

【主な質疑】

委員：町立病院前というのは従前のバス停はそのまま残りますか？

担当：病院の敷地内にある町立病院のバス停は、現行の物をそのまま使う形です。もう1か所の町道沿いの町立病院入口は、今運行している俣落線と武佐線にはこれまでバス停がなかったので、再編に合わせ設置するものです。

2. 地域自殺対策緊急強化事業（報償金 160千円・普通旅費 465千円）

令和7年8月27日に北海道医療大学との包括的連携協定を締結し、本年度はメンタルヘルス分野の事業を実施する。北海道医療大学心理科学部長で公認心理師の富家直明氏を講師として招聘し、自殺予防対策に関する講演会及びゲートキーパー養成講座を開催する。

【主な質疑】

委員：ゲートキーパー養成講座の対象者が、民生委員児童委員、福祉関係団体と記載されています。講演会のように一般町民は対象にならないのですか？

担当：開催に向けた打ち合わせを行い、その他に一般町民や中標津町生きるを支える地域連絡会議、この構成団体には小中学校や高等学校、両農協や商工会等々が入っていますので、そこへも案内し幅広く参加いただくことにしています。

教育委員会

1. 旧北海道農事試験場根室支場附属施設農機具・種苗倉庫修繕等経費

（修繕料 1,760千円・火災保険料 17千円）

国の登録有形文化財である標記施設を旧庁舎（伝成館）と一体で保存・活用を図るために町が北海道から譲与を受ける見込みであり、当該建築物の保存のため応急処置及び

火災保険へ加入するものです。

【主な質疑】

委員：火災保険料でカバーできる範囲はどの程度を予定していますか？

担当：歴史的建造物なので価値評価を定めることは非常に難しいところです。台風や風雪により屋根の鉄板や壁の腰板材などが破損した際に賄い、加入できる最低限の範囲としています。